

資料2-2

令和元年度

教育行政に関する点検評価報告書（案）
（平成30年度 実施事業対象）

伊賀市教育行政評価委員会

評価の概要	1
教育総務課	2
学校教育課	3
給食センター	5
生涯学習課	6
公民館	9
教育集会所	11
文化財課	14
上野図書館及び分館図書室	15

令和元年度 伊賀市教育委員会の点検及び評価の概要

1. 経過及び目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに公表しなければならない。」となっています。

教育委員会は、この法律に基づき、教育に関する施策について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

2. 点検・評価の方法

令和元年度教育行政評価は、伊賀市総合計画の教育関連施策や教育委員会が策定した、平成30年度教育方針に掲載し実施した施策や事業・業務を対象としました。

点検・評価については、事業担当課が作成した平成30年度実績による事務事業評価シート及びヒヤリング、その他資料に基づき行いました。

点検及び評価の内容は次のとおりです。

3. 総評

各事業に対し、工夫された取組の様子がうかがわれる。

費用対効果にとらわれる必要はないが、改めて各事業分析を行い実態に即した事業推進に努められたい。

教育行政評価委員

氏 名		所属・職名等
委員長	藤本 久司	元三重大学人文学部准教授
副委員長	加納 圭子	元学校教育課長、元中学校長
委 員	西井 正和	元中学校長
委 員	東 真弓	文化財保護指導委員
委 員	岩佐 絹枝	社会教育委員、図書館協議会委員
委 員	岡山 幹治	青少年健全育成市民連絡会議副会長

事業担当課ごとの点検・評価対象事業数

担 当 課	教育総務課	学校教育課 (給食センター)	生涯学習課	公民館
事 業 数	5	13	8	1
担 当 課	教育集会所	文化財課	図書館	計
事 業 数	2	5	7	41

教育行政評価委員会の開催状況

日 時	場 所	内 容
8月19日 13:30~17:00	伊賀市役所401会議室	*評価方法及び評価対象事業の確認 *評価対象事業の説明
9月25日 9:30~12:00	伊賀市役所401会議室	*評価対象事業の評価・意見等の実施
10月28日 9:30~12:00	伊賀市役所201会議室	*評価・意見等の内容確認

努力目標達成のための指標 教育総務課

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (H30年度の取組内容)	指標		内部評価 (方向性)	
				H30年度 実績値	2019年度 目標値		
子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	長田・新居小学校再編計画 新居小学校既設校舎改築事業	* 統合校舎整備のうち、既設校舎解体工事及び新校舎の建築工事を行った。	進捗率50%	進捗率100%	継続
			阿山地区小学校再編計画	* 阿山小学校と玉瀧小学校の小学校統合を推進するため、玉瀧地区及び玉瀧小学校PTAとの協議を行った。	進捗率85%	進捗率90%	継続
			上野南部地区小学校再編計画	* 依那古小学校と神戸小学校、比自岐小学校の統合について、神戸小学校PTAとの協議を行った。	進捗率10%	進捗率30%	継続
	2	学校(園)施設の整備充実	上野西小学校屋内運動場改修事業	上野西小学校大規模改造事業を実施するにあたり、設計業務委託を実施した。	進捗率20%	進捗率100%	継続
			新小学校給食センター建設事業	新小学校給食センターの整備を行うため、給食センター用地を取得し、配送校給食室改修工事実施設計業務委託を実施しました。	進捗率30%	進捗率100%	継続

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
1 校区再編事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○統合前の各小学校をサポートしていた地域の支援体制を統合後もできるだけ有効に維持・活用されたい。 ○地域合意のもと適切な事業の推進が必要。子どもの状況や地域の状況が変化する中、当初計画との違いが生じてきているのではないかと。別角度からの検討も必要では。 	
2 学校(園)施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの教育環境の整備について、早急な改善を望みます。 	

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくりの推進	地域とともに学校マニフェスト推進事業	○各小中学校(園)に学校評議員、学校評価委員を配置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。 ○学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。 ○学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点 市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点 市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%	継続
			○学力向上推進事業、人権同和教育研究事業、キャリア形成事業の三事業を実施し、各小中学校長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:95%	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:97%	継続
	2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	○各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。 ○伊賀市学力向上プロジェクト委員会を実施し、課題の分析、解決に向けた取り組みへの提言等をおこなうとともに、学力向上改善研修会を開催した。 ○中学校1年生で標準学力検査を実施した。 学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。 ○「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小学校1年生、中学校1年生に配付した。 ○全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。	標準学力検査における市内小中学校の平均点の全国比中学校:96.8	標準学力検査における市内小中学校の平均点の全国比中学校:107	継続
	確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	教職員研究研修経費	○部会別教育研究活動の充実を図った。 ○職場教育研究交流会、夏季教育講演会を開催した。 ○研究指定校研究推進事業の充実を図った。(久米小学校、大山田小学校、中瀬小学校、大山田中学校)	研修講座への参加人数 参加者数:1,094人(H30年度は、伊賀市教育研究集会が台風のため中止となった。)	研修講座への参加人数 参加者数:1,500人	継続
	3 人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	人権同和教育推進事業	○伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。 * 幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。	人権・同和教育の推進を「十分図れた」「図れた」学校数:31校	人権教育カリキュラムの見直しを「十分図れた」「図れた」学校数:31校	継続
	24 人権・同和教育の推進			学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数: 5回以上	学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数: 5回以上	継続
	4 キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	○「自分発見!中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施した。 ○各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。 ○「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、児童生徒の社会的・職業的自立に向けた指導のあり方等について、研修を深めた。	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と答えた生徒の割合:88%	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と答えた生徒の割合:90%	継続
	7 23 生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	○各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。 ○スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行っています。 ○全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を試行し、調査の方法・活用等の理解を図った。 ○全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制を作りに努めた。	小中学校における問題行動発生件数:39件	小中学校における問題行動発生件数:0件	継続

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	8 28 29 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 教育相談の実施 不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	○伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。 ○不登校の実態把握に努めるとともに、教育相談に関わる教職員研修を実施した。	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合: 88%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合: 100%	継続
	10 子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	○教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保した。	登下校中の小中学生の交通事故発生件数 12件	登下校中の小中学生の交通事故発生件数 0件	継続
	11 26 特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	○教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作った。 ○児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。	教育学習支援員・特別支援教育支援員配置: 42.5人	教育支援員・特別支援教育支援員配置: 44人	継続
	13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	○初期適応指導教室(チャレンジ教室)を開校した。 ○「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。 ○日本語指導者研修会を開催した。 ○外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。 ○日本語指導コーディネーターを派遣した。 ○教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を実施した。	高校進学率(H30年度卒業生): 97.4%	高校進学率(H31年度卒業生):90%	継続
	14 外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	○外国語活動指導助手(JETプログラム事業)を各中学校へ派遣した。 ○外国語活動指導助手(直接任用)を各小学校へ派遣した。 ○小学校外国語指導者研修会を実施した。	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.9日	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約9日	継続
	27 教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	○教育研究センターの管理運営を行った。 ・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。 ・教職員、学校、地域の連携等、教育活動の推進が図れるよう支援に努めた。	会議室使用延べ人数: 11、450人	会議室使用延べ人数: 12,000人	継続
安心子どもたちが学べる、	20 学校給食の充実	学校給食管理事業	* JAなどの物資納入業者と連携し、物資の確保や価格の調整を図りながら、地場産、特に伊賀産品の優先的に取り入れた。 * 地元食材を紹介する「給食だより」を発行し、市ホームページでは中学校給食の献立表を掲載した。 * 施設見学、中学生の職場体験受入れなどにより、学校給食業務の啓発を行った。	地場産食材(県内産・伊賀産)購入率(年間平均) 3センター平均 28.0% ・いがっこ給食センター夢:30.0% ・阿山給食センター:29.0% ・大山田給食センター:26.0%	地場産食材(県内産・伊賀産)購入率(年間平均) 3センター平均: 30.0% ・いがっこ給食センター夢:30.0% ・阿山給食センター:30.0% ・大山田給食センター:30.0%	継続

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
1 21 地域とともに学校マニフェスト推進事業	○引き続き地域とともにある学校づくりを充実してもらいたい。 ○マニフェスト作成過程において学校長のリーダーシップの基、全教職員の参画と合意による取り組みを確認、徹底されたい。 ○学校評議員等が年間を通じて、学校の助言、協力ができる体制づくりを望む。 ○教員の働き方改革についても外部意見を大いに取り入れてはどうか。 ○保護者の賛同が高いことは評価されるが、少数の意見も尊重し改善に努められたい。	
2 22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	○状況分析を土台にして学力向上を目指されたい。あわせて学力面や生活面で厳しい状況に置かれている子どもや保護者に展望を与えるものになることを切に願う。 ○若手教職員の増加から教師力向上を目的とした研修の機会が、ますます重要である。さらに参加教員の意欲を促す取り組みを期待する。教科指導力向上のための研修会機会を充実させ、教職員の働き方の問題の解決と共に事業の充実を求める。	

努力目標		平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
3	人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	<p>○障がい者、外国人、LGBTなど新たな視点や認識の変化に応じた人権教育に努力をお願いしたい。</p> <p>○差別発言が多数報告される中、個々の事象に丁寧に取り組むとともに、人権教育について学校から積極的な発信を行い、地域や家庭と共同した取り組みを継続してほしい。</p>	
24	人権・同和教育の推進		
4	キャリア教育の推進	<p>○キャリア教育の重要性、必要性については、まだ各校の連携が整っていないということであるが、調整、交流を図ってほしい。</p> <p>○経験から生きがいや生き方につながるような職場体験を期待したい。</p> <p>また、自分の将来を考えるきっかけとしても重要な事業であるため、引き続き精査・拡大に努められたい。</p>	
7・23	生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	<p>○いじめ問題は残念ながらもなくなってない。不幸な子供たちを増やさないため、日々の注意、体制作りを希望する。</p> <p>○Q-U調査の継続とともに、スクールソーシャルワーカーの増員もまだまだ必要ではないかと思う。</p>	
8・28・29	不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 教育相談の実施 不登校児童生徒の支援	<p>○「教育相談の充実」とあるが、指導者である教職員が指導と相談を両方受け持つのは限界があると思う。民間の協力組織や専門機関の先進的な知見を積極的に取り入れる等、公私問わず専門機関の情報を発信してほしい。</p> <p>○デリケートな問題かと思うが、信頼関係の持てる場所としての環境づくりをお願いしたい。</p> <p>○ふれあい教室の更なる充実を望む。</p>	
10	子どもたちの安全・安心の確保	<p>○不審者情報の迅速な共有とともに、地域住民の既存のサポート体制の維持に努めてほしい。</p>	
11・26	特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	<p>○支援が必要な児童生徒が増加傾向にある中、現在の支援員配置数で充実した支援ができるのか、市としての幼児期からの育ちを追った特別支援体制の見直しをする必要があるのではないかと。支援員の充実、支援員の育成等更なる特別支援教育の充実を願う。</p>	
13	外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	<p>○外国人児童生徒が増加する中、日常的に外国人保護者と児童生徒が気軽に進路相談できる機会を増やすなど、伊賀市の支援体制や進路保障を継続して進められたい。</p> <p>○出身国の多様化にあった人材育成に努められたい。</p>	
14	外国語教育の推進	<p>○小学校の英語教育の人材養成のため市独自の取組みに今後とも努力されたい。</p> <p>○本年度実施された全国学調から英語科について多くの課題が議論されている。ALT派遣がその課題克服の一助となるよう学校での授業づくりを充実されたい。</p>	
27	教育研究の推進 充実	<p>○意義ある研修会を望むとともに、将来、生涯学習や地域での学習会等の分野でも活躍できる人材の育成としても考えてほしい。</p>	
20	学校給食の充実	<p>○意義ある研修会を望むとともに、将来、生涯学習や地域での学習会等の分野でも活躍できる人材の育成としても考えてほしい。</p>	

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活動できる	社会教育の推進	成人式開催経費	成人式式典 平成31年1月13日(日) 午11時30分から ○中学校区別(9ヶ所)で開催 崇広中学校区 (ハイトピア伊賀5階) 城東中学校区 (前田教育会館蕉門ホール) 緑ヶ丘中学校区 (ヒルホテルサンピア伊賀) 上野南中学校区 (ゆめぼりすセンター) 柘植・霊峰中学校区 (ふるさと会館いが) 阿山中学校区 (あやま文化センター) 島ヶ原中学校区 (島ヶ原温泉多目的ホール) 大山田中学校区 (どんぐりホール) 青山中学校区 (青山ホール) 対象者 910名 参加者 688名	参加率:75%	参加率:75%	継続
		生涯学習事業推進	*自治協役員や公民館職員を対象に住民力を高める市民交流としてまちづくりのための勉強会を開催した。(2回) *地域課題や活動事例についての交流、専門家の指導による講習などを通して地域における学びの交流会を開催しました。(5回)	参加者数:160名	参加者数:160名	完了
部落差別をなくす	主体的尊重の精神を培い、人づくり	教育集会所交流事業	伊賀市教育集会所交流事業「みんなよつといで！」を実施しました。 参加者数:196名 (参加児童・生徒、引率スタッフ、指導者含む) 内容:各教育集会所で開催している地区学習会の取り組み成果発表と交流会を開催 伊賀市教育集会所中学生交流会を実施しました。 参加者数計:45名 (参加生徒、引率スタッフ、指導者含む) 伊賀市高校生・青年人権学習交流会を実施しました。 参加者数計:56名 (高校生、青年・引率スタッフ等含む) 内容:第1回 全国高校生・青年大会事前 学習会(42名) 第2回 広野教育集会所青年高校生との 交流会(25名) 第3回 インターネットにおける人権学習 交流会(41名)	参加者アンケートの満足度:99.5%	参加者アンケートの満足度:95%	充実
		同和教育研究推進事業	①伊賀市社会同和教育指導員(条例7名のうち、1名)と臨時職員1名を任用し、伊賀市における社会同和教育の推進・充実と発展をめざしました。 ②伊賀市内の人権同和教育の充実と発展に資する目的で、伊賀市人権同和教育研究協議会と上野社会同和教育研究会へ、人権同和教育研究活動事業を委託しました。 ③伊賀市・伊賀市教育委員会が主催・共催・後援する、同和教育問題をはじめ、人権尊重と啓発の研修・講演・学習会など、あらゆる機会をとらえて、人権同和教育の研究推進・人権啓発を行いました。 ④いがまち公民館の同和教育研究事業を行いました。	参加者数:8,601人	参加者数:8,500人	継続
人権問題啓発活動の推進	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業		12部会の開催回数:60回 開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:414人	12部会の開催回数:60回 開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:410人	継続
		同和教育研究推進事業		開催回数:15回 開催回数:1回 参加者数:159人 開催回数:1回 参加者数:257人 開催回数:8回 参加者数:300人	開催回数:15回 開催回数:1回 参加者数:200人 開催回数:1回 参加者数:300人 開催回数:10回 参加者数:320人	継続
		同和教育研究推進事業	(いがまち) ・人権パネル展示 ・人権図書コーナー設置 ・公民館人権研修会	開催回数:2回 参加者:437人 蔵書数:345冊 開催回数:1回 参加者数:68人	開催回数:2回 参加者:500人 蔵書数:360冊 開催回数:1回 参加者数:70人	継続
		同和教育研究推進事業	(阿山) * 人権作文・ポスター展示 * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 人権同和教育学習講座	開催回数:1回 来館者数:582人 開催回数:7回 来館者数:5,682人 開催回数:1回 蔵書数:214冊 開催回数:4回 参加者数:452人	開催回数:1回 来館者数:600人 開催回数:12回 来館者数:6,000人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:4回 参加者数:500人	継続

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
部落差別をなくす	8	の人権問題啓発活動 同和問題啓発事業	(大山田) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 文化講演会 * サークル団体等人権研修会	開催回数:12回 蔵書数:257冊 開催回数:1回 参加者数:40人 参加者数:20人	開催回数:12回 蔵書数:265冊 開催回数:1回 参加者数:50人 参加者数:40人	継続
			(青山) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	開催回数:12回 参加者数:3,900人 開催回数:4回 開催回数:2回 参加者数:83人	開催回数:12回 参加者数:4,000人 開催回数:4回 開催回数:2回 参加者数:85人	継続
子どもや若者が、健やかに成長する	5	健全な青少年の活動の創造的推進 青少年健全育成事業	○第11回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発を行った。 ○青少年健全育成推進大会 午前の部 人形劇「てぶくろをかいに」 午後の部 講演会「子どもたちの輝く未来のために～今、私たちにできること」を開催した。 ○伊賀市青少年育成市民連絡会議へ青少年育成活動事業の補助をし、地域住民との交流、世代間交流、自然の中での体験など各団体の特色を生かす事業を実施した。 ○青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を実施した。 ○伊賀市青少年ネットワークづくり研修会、伊賀地区子どもわかもの育成支援のための支部研修会開催した。	青少年健全育成推進大会参加者数 午前の部 人形劇210人 午後の部 講演会57人	青少年健全育成推進大会(人形劇・講演会) 参加者数:200人	継続
子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進 青少年健全育成事業	(いがまち) ○夏、冬の体験教室	開催回数:2回 参加者数:104人(夏季) 参加者数:80人(冬期)	開催回数:2回 参加者数:100人	継続
			○小中学生下校時パトロール	開催回数:15回	開催回数:18回	
			○非行防止夏季夜間パトロール	開催回数:1回 参加者:43人	開催回数:1回 参加者:50人	
			○家庭教育講演会	開催回数:1回 参加者数:29人	開催回数:1回 参加者数:50人	継続
			(鳥ヶ原) ○夏、冬の体験教室	開催回数:32回 参加者数:124人	開催回数:25回 参加者数:100人	
			○非行防止事業	開催回数:1回 参加者数:17人	開催回数:1回 参加者数:20人	
			○体験型学習	開催回数:17回 参加者数:578人	開催回数:10回 参加者数:300人	継続
(阿山) ○青少年非行防止パトロール	開催回数:4回 参加者数:59人	開催回数:4回 参加者数:70人				
○人づくり市民会議事業連携	開催回数:20回 参加者数:499人	開催回数:16回 参加者数:500人	継続			
(大山田) ○むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数:7回	開催回数:8回	継続			
(青山) ○防犯ネットワーク会議	開催回数:2回	開催回数:2回	継続			
○小中学生下校時パトロール	開催回数:85回	開催回数:85回				
○青山青少年育成会議事業連携	開催回数:11回	開催回数:11回				

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年活動の創造的、主体的な育成活動の推進	放課後子ども教室 伊賀市内で3つの教室を実施しました。 柘植教室：柘植放課後子ども教室運営委員会 毎週水曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前7時から午後6時まで。 西柘植教室：西柘植放課後子ども教室運営委員会 毎月4回(水曜)。放課後から午後6時まで。長期休業中は午前9時から午後5時まで。 古山教室：古山放課後子ども教室運営委員会 毎週水金曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前8時30分から午後6時まで。 ○放課後子どもプラン施策検討委員会の開催 日時：平成30年11月14日(水) 西柘植放課後子ども教室及び西柘植放課後児童クラブ見学後に会議 内容：国が策定の「新・放課後子ども総合プラン」紹介 伊賀市の放課後児童クラブや放課後子ども教室の現状	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計)：11人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計)：12人	継続
			青少年センター運営経費 ○街頭補導活動：毎月4回の定時補導等を実施した。 ○青少年相談活動：市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知を行った。 ○環境浄化活動：青少年にとって有害な環境点検のパトロールを三重県任命立入調査員の協力を得て、コンビニエンスストア・書店・小売店へ出向き、低俗な広告物・有害玩具・不良環境などの排除への協力を行った。	被補導少年数：25人	被補導少年数：20人	継続

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
1 社会教育の推進	○各地区で様々なアイデアを取り入れ運営に努力している。現在のスタイルが定着しつつあるがマンネリ化に陥らないよう今後とも活発な議論と工夫を続けてほしい。 ○他の中学校卒業生や転入者が参加しやすくなったことはよいことである。	
3 地域づくりの支援	○きめ細かい勉強会の成果が出て自治協にまちづくりの意識が高まっているように思うが、運営経費が課題である。 ○冊子を作ることで完了に終わらないよう地区間の交流を深める具体的な取り組みを望みます。 ○ある一定の評価につながるもの、今後は自主的な市民参加や協力体制がさらに進むことを期待する。	
4 人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	○すべての参加者が差別をなくし仲間との存在とつながりを確認できる有意義な場だと思う。また、人権リーダーを育成する観点からも重要な取り組みだと思う。更なる充実を目指して継続を。 ○どんな場面、場所でもコミュニケーションが図れるよう、その交流の工夫をさらに考慮していただきたい。	
8 人権問題啓発活動の推進	○「他人ごと意識」の払拭はなかなか難しい問題ではあるが更なる機会の充実を願う。 ○「学び」の機会や保障とその連続性が、人権意識の向上に大きく影響してくる。今後学習啓発活動の充実を積極的に図られたい。 ○人権教育について、他の事業とも連携を図り、効率のよい事業を進めるよう努められたい。 ○啓発事業は根強い継続が大切だと思う。地域や学校、企業、組織関係者に加え、一般住民が交互に多数参加できる工夫を行い、引き続き学習機会の充実を図られたい。	
5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	○青少年の健全育成は重要な施策であり、事業の充実という意味では一定の評価がなされるが、子供たちの環境の変化は著しいものがあり、その変化に対応すべき対策や事業の取り組みも今後の課題ではないかと思う。 ○地域で育む意識や、小さな取組みに1人1人が関わられるよう努められたい。 ○青少年センター等との連携を深め対策や啓発の充実を図られたい。	
5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	○子ども達の安心安全の環境づくりに不可欠な事業である。放課後児童クラブとの連携をさらに工夫されたい。 ○教室スタッフの人材確保、基本的対応の統一、運営レベルの維持のために、スタッフの研修機会を設けてはどうか検討されたい。 ○定時補導の実施については従来より市民団体や関係機関の連携した活動が行われてきているが、スマートフォンの普及によりSNSによるトラブルや犯罪が増加し、青少年が巻き込まれていることから事件防止への緊急的な対応が望まれる。 ○青少年に対する課題が山積する中で、青少年が置かれた環境改善と相談事業の更なる充実が努められたい。	

施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
					2018年度実績値	2019年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	上野公民館	通年講座である悠々セミナー(9回)、脳&足筋体幹予防講座(8回)を実施した。	開催回数:17回、参加者数:764人	開催回数:17回、参加者数:800人	継続
				初心者を対象にパソコン教室を行った。	開催回数:10回、参加者数:87人	開催回数:10回、参加者数:100人	継続
				初めての講師サポート事業を実施し、6事業を採択した。	開催回数:18回、参加者数:114人	開催回数:15回、参加者数:130人	継続
				ゆかた着付体験、天神祭における着物の着付、だんじり乗車体験、写真教室に加えて、おりがみ教室やハーバリウム教室を開催した。	開催回数:5回、参加者数:78人	開催回数:3回、参加者数:45人	継続
				上野児童福祉会連合会への委託事業(青少年健全育成事業)	開催回数:3回、参加者数:531人	開催回数:5回、参加者数:600人	継続
				上野児童福祉会連合会への委託事業(ふるさと学習事業)	開催回数:7回、参加者数:104人	開催回数:6回、参加者数:110人	継続
				いがっこ通信の発行を今年度から中止した。	発行回数:回(未実施)	—	廃止
				亥の春展として、子どもを対象とした絵画と一般対象の絵馬の作品を募集し、期間中の掲載に努めた。	参加者数:185人	参加者数:200人	継続
				上野サークル協議会主催のサークルまつりの開催を支援した。	サークル数:22	サークル数:22	継続
				公民館サークルの育成を行った。	回数:2回	回数:2回	継続
			上野公民館分館活動事業を21分館へ委託した。	分館数:21、事業数:46	分館数:21、事業数:46	廃止	
			いがまち公民館	公民館一般講座	開催回数:38回、参加者数:604人	開催回数:36回、参加者数:700人	継続
				公民館子ども講座	開催回数:12回、参加者数:222人	開催回数:12回、参加者数:300人	継続
				読み聞かせ会	開催回数:29回、参加者数:598人	開催回数:30回、参加者数:600人	継続
				やまなみ文化協会育成	回数:2回	回数:2回	継続
				やまなみ文化祭	開催回数:1回、参加数:10団体	開催回数:1回、参加数:13団体	継続
				いがまち展覧会	開催回数:1回、出展者数:761人	開催回数:1回、出展者数:800人	継続
				いがまち分館(柘植公民館)活動事業	分館数:1、開催回数:0	分館数:1、開催回数:0	廃止
				島ヶ原公民館	健康体操教室・初心者のパソコン教室・彩々教室・歴史文学講座・園芸教室(共通講座 島ヶ原開催)	開催回数:27回、参加者数:384人	開催回数:26回、参加者数:350人
			絵本の読み聞かせ教室		開催回数:21回、参加者数:758人	開催回数:20回、参加者数:600人	継続
			文化サークルまつり演芸会		開催回数:1回、参加者数:130人	開催回数:1回、参加者数:100人	継続
			文化作品まつり展覧会		開催回数:1回、参加者数:643人	開催回数:1回、参加者数:600人	継続
			公民館サークルの育成		回数:3回	回数:3回	継続
			阿山公民館	一般対象講座	開催回数:5回、参加者数:76人	開催回数:6回、参加者数:80人	継続
				子ども対象講座	開催回数:33回、参加者数:442人	開催回数:33回、参加者数:400人	継続
				あやま芸能まつり	開催回数:1日、参加者数:490人	開催回数:1日、参加者数:450人	継続
				あやま展覧会	開催回数:3日、参加者数:1,161人	開催回数:3日、参加者数:1,200人	継続

施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
					2018年度実績値	2019年度目標値	
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	阿山公民館	公民館サークルの育成	回数:8回	回数:8回	継続
				読み聞かせの会	開催回数:21回、参加者数:98人	開催回数:24回、参加者数:110人	継続
			大山田公民館	一般対象講座	開催回数:11回、参加者数:111人	開催回数:15回、参加者数:250人	継続
				子ども対象講座	開催回数:11回、参加者数:224人	開催回数:14回、参加者数:210人	継続
				リズム運動教室(園児対象)	開催回数:5回、参加者数:175人	開催回数:6回、参加者数:228人	継続
				サークルの育成	回数:3回	回数:3回	継続
				芸術文化祭(芸能大会)	参加団体数:7団体	参加団体数:8団体	継続
				芸術文化祭(展覧会)	出展者数:802人	出展者数:900人	継続
				読み聞かせ会(図書室)	開催回数:23回、参加者数:222人	開催回数:24回、参加者数:230人	継続
				読み聞かせ会(大山田小学校)	開催回数:43回、参加者数:1,759人	開催回数:42回、参加者数:1,700人	継続
				読み聞かせ(子育て支援センター他)	開催回数:5回、参加者数:265人	開催回数:5回、参加者数:145人	継続
				青山公民館	まなびあおやま(一般)講座	開催回数:18回、参加者数:278人	開催回数:18回、参加者数:270人
			まなびあおやま(こども)講座		開催回数:7回、参加者数:224人	開催回数:7回、参加者数:230人	継続
			図書室公開講座『おはなし広場』		開催回数:6回、参加者数:446人	開催回数:6回、参加者数:450人	継続
			地域芸術向上支援事業		開催回数:5回、参加者数:288人	開催回数:5回、参加者数:290人	継続
			地域学習講座(青少年育成)		開催回数:5回、参加者数:330人	開催回数:5回、参加者数:330人	継続
			読み聞かせ会(青山図書室)		開催回数:19回、参加者数:375人	開催回数:19回、参加者数:380人	継続
			読み聞かせ会(青山小学校等)		開催回数:41回、参加者数:1,119人	開催回数:41回、参加者数:1,120人	継続
			文化サークル連協芸能発表会		開催回数:1回、参加者数:400人	開催回数:1回、参加者数:400人	継続
			ふるさと美術文化展覧会		開催回数:1回、参加者数:314人	開催回数:1回、参加者数:350人	継続
公民館サークルの育成	回数:4回	回数:4回	継続				
青山分館活動事業	分館数:6、事業数:48	分館数:6、事業数:48	継続				

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	○それぞれの地域で公民館が趣味サークルの活動の場を提供していることは意義深い。 ○各地域それぞれの特徴ある事業として継続を期待するとともに、各サークル活動や講座・教室の自立を支援すること、伊賀市全体での統一した事業への発展に対する支援等推進されたい。 ○地域によって内容、人数等が違って当然だが、予算等精査を行い、基準の見直しが必要。	

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進 教育集会所事業経費	崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の一体となった人権同和教育を推進した。崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタを開催した。(崇広中学校区地域ぐるみの人権同和教育推進委員会に委託)	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:2,000人	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:1,800人	継続
			* 人権同和教育相談事業 日頃における人権同和教育の推進と合わせて、保護者からの相談の機会として開設した。	(寺田) 開催回数:5回 参加者数:5人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:10人	継続
			*中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート 幅広い市民への啓発活動として、夏祭り人権トーク&コンサートを開催。 *寺田フィールドワーク 地域や教員の要望に応じ、地区内フィールドワークを行うことにより差別の不合理さや差別をなくすために行動する人たちの思いに触れ、人権意識の向上を目指した。 * 小中人権同和教育講演会 小中のPTAと共催し、保護者を対象とした講演会を開催した。	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:1,560人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:1,400人	継続
			* 城東中学校区小3・6人権学習会/城東中学校1年人権学習会 部落差別をはじめとするあらゆる面で差別の撤廃に向けて小中学学習会を開催した。	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:581人	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:540人	継続
			* 寺田教育を考える母(保護者)の会 部落差別に負けない、許さない子どもの育成と学力保障を実現するため、課題解決に向けた部落問題学習を行い、保護者同士のつながりを深めた。 * 保小中連絡会 保・小・中・高の教員と寺田教育集会所が、地区生の課題や部落問題について共通認識を持ち、連携を取りながら月に一度、課題解決をはかった。 * 三者懇談会 保育園・小学校・中学校が、寺田教育集会所と寺田支部と地区生の状況と人権教育について 共通認識を持つための懇談会を開催した。(年2回ずつ)	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:490人	(寺田) 開催回数:25回 参加者数:450人	継続
			伊賀地区校区連絡会議	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	継続
部落差別をなくす	9	教育集会所事業経費	* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:96人	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:100人	継続
			青山学校同和教育推進委員会 * 青山管内の保育園・小学校・中学校の連携を図るため、事務局会の開催・人権研修会の開催・機関紙の発行・実践交流会・実践報告集の作成を実施した。	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:105人	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:110人	継続
			保小中同和教育実践交流会 * 青山管内の保育園・小学校・中学校の職員の人権意識の向上を図った。	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:102人	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:95人	継続
			推進委員会・実践報告書作成・推進委員会だより発行 * 青山管内の保育園・小学校・中学校の教職員の人権意識の向上を図った。 * 青山管内での学校人権同和教育の周知を図った。	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	継続
		人権教育推進事業	部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や、差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品の制作をつづけて行った。	(八幡)識字教室 開催回数:46回 参加者数:361人	(八幡)識字教室 開催回数:43回 参加者数:300人	継続
			生活講座、識字教室	(前川) 開催回数:98回 参加者数:1050人	(前川) 開催回数:95回 参加者数:1000人	継続
生活講座、識字教室	(奥馬野) 開催回数:37回 参加者数:402人		(奥馬野) 開催回数:31回 参加者数:400人	継続		

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性	
				2018年度実績値	2019年度目標値		
部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 地域住民の教養を高める講座を開催した。 * 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や、差別の不合理を伝え、差別をなくすための啓発活動を共同作品制作を通じて行った。 * パソコン技術向上を図る教室を開催した。	(老川) ・生活講座 開催数: 年19回 延べ参加者数121人 ・識字教室 開催数: 年24回 延べ参加者数: 136人 ・パソコン教室 開催数: 年24回 延べ参加者数: 122人	(老川) ・生活講座 開催数: 年20回 延べ参加者数110人 ・識字教室 開催数: 年22回 延べ参加者数: 100人 ・パソコン教室 開催数: 年22回 延べ参加者数: 95人	継続
				地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす仲間づくりと人権感覚豊かな子どもの育成を図った。	(八幡) 開催回数34回 参加者数: 1,350人	(八幡) 開催回数: 28回 参加者数: 1,000人	継続
				* 小学生地区学習会 地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす人権感覚豊かな子どもの育成を図った。 * 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるために、長期休業期間に学習会や絵本読み聞かせ会を開催した。	(寺田) 開催回数: 28回 参加者数: 1,016人 (寺田教科学習会) 開催回数: 26回 参加者数: 228人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 76回 参加者数: 1,116人 (寺田絵本読み聞かせ会) 開催回数: 1回 参加者数: 12人	(寺田) 開催回数: 31回 参加者数: 1,000人 (寺田教科学習会) 開催回数: 25回 参加者数: 200人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 65回 参加者数: 750人 (寺田絵本読み聞かせ会) 開催回数: 1回 参加者数: 15人	継続
				小学生地区学習会を行った。	(下郡) 開催回数: 42回 参加者数: 601人	(下郡) 開催回数: 37回 参加者数: 512人	継続
				小学校地区学習会	(前川) 開催回数: 39回 参加者数: 1,510人	(前川) 開催回数: 35回 参加者数: 1,500人	継続
部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	夏季学習会・冬季学習会を実施し、補充学習、体験学習を行うことで学力保障、仲間づくりや地域交流を図った。	(奥馬野) 開催回数: 25回 参加者数: 867人 (ライトピア子ども会) 開催回数: 11回 参加者数: 106人	(奥馬野) 開催回数: 20回 参加者数: 900人 (ライトピア子ども会) 開催回数: 15回 参加者数: 150人	継続
				将来の展望を持ち、仲間とともに自己実現を図っていく学習会の開催	(八幡)中学生地区学習会 開催回数: 38回 参加者数: 607人	(八幡)中学生地区学習会 開催回数: 40回 参加者数: 600人	継続
				中学生地区学習会・高校生友の会を開催した。	(下郡) 開催回数: 30回 参加者数: 532人 (下郡高校生友の会) 開催回数: 4回 参加者数: 24人	(下郡) 開催回数: 33回 参加者数: 575人 (下郡高校生友の会) 開催回数: 12回 参加者数: 50人	継続
				* 中学生地区学習会 地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす人権感覚豊かな子どもの育成を図った。	(寺田) 開催回数: 34回 参加者数: 312人 (寺田教科学習会) 開催回数: 52回 参加者数: 290人 (寺田高校生友の会) 開催回数: 37回 参加者数: 133人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 2回 参加者数: 105人	(寺田) 開催回数: 36回 参加者数: 450人 (寺田教科学習会) 開催回数: 47回 参加者数: 350人 (寺田高校生友の会) 開催回数: 12回 参加者数: 30人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 4回 参加者数: 100人	継続

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性	
				2018年度実績値	2019年度目標値		
部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	中学生地区学習会・高校生友の会	(前川) 開催回数:93回 参加者数:1520人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:3回 参加者数:81人	(前川) 開催回数:90回 参加者数:1,400人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:3回 参加者数:90人	継続
				中学生地区学習会	(奥馬野) 開催回数:28回 参加者数:430人 (奥馬野中高中生学習会) 開催回数:8回 参加者数:52人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:450人 (奥馬野中高中生学習会) 開催回数:8回 参加者数:40人	継続
				奨学金と保護者、学校関係者に対して、奨学金の意義と人権同和教育に対する理解を深めた。	(八幡) 開催回数:2回 参加者数:154人	(八幡) 開催回数:2回 参加者数:180人	継続
				人権教育講演会、学習会を行った。	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:3回 参加者数:78人 (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:210人 (上野南中学校区学習会) 開催回数:1回 参加者数:85人 (下郡老人クラブ学習会) 開催回数:1回 参加者数:64人	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:2回 参加者数:50人 (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:200人 (上野南中学校区学習会) 開催回数:1回 参加者数:100人 (下郡老人クラブ学習会) 開催回数:1回 参加者数:60人	継続
部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	人権教育講演会、学習会	(前川) 開催回数:1回(特別解放講座) 参加者数:50人	(前川) 開催回数:1回(特別解放講座) 参加者数:75人	継続
				人権教育講演会、学習会 *青山管内の保育園・小学校・中学校の教職員の人権意識の向上を図った。	(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数:192人	(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数:200人	継続

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
9 人権同和教育の推進	<p>○崇広中校区や中瀬地区のように地域ぐるみでの人権学習活動が年間行事の一つになっているものもあり、人権への理解につながっている。今後とも継続充実を期したい。</p> <p>○実施回数と参加人数にばかり捕らわれるのではなく、内容の精査とその裏付けとなる実態調査等の分析に努められたい。</p> <p>○教育集会所は、隣保館とともに差別をなくす拠点であり、人権文化を構築していく発信基地でもある。さらなる工夫と充実が求められる。</p> <p>○人権にかかわる県内の意識調査や実態調査の結果を見ると、「人権侵害を受けた」と答えた人の中でおよそ4割前後の人が「誰にも相談しなかった」「何もせず我慢した」と答えている。相談体制の充実が喫緊の課題である。人権教育推進事業の一層の充実を図ることがそうした課題の一役を担うことになるのではないか。</p> <p>○人権推進リーダー育成という観点からも、「地域学習会」や「友の会」のさらなる充実を期待したい。</p>	

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性
				2018年度実績値	2019年度目標値	
歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	3 2 1 文埋郷 化蔵土 財文の に化文 関財化 するの 諸保産 資料と の保護 の活用 の収集・ 保存及 び活用	文化財保存経費	* 文化財保護審議会(3回)、文化財保護指導委員会(1回)を開催し、2件を新たに文化財として指定した。 * 指定文化財の調査・管理、史跡の草刈など環境整備事業を実施した。 * 指定文化財の保存修理に補助金を支出した。 * オオサンショウウオをはじめ天然記念物の保護に努めた。 * 指定文化財の説明看板を1ヶ所設置した。 * 書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。	指定文化財の調査管理: 62件	指定文化財の調査管理: 50件	継続
			* 県指定有形文化財春日神社拝殿の保存修理事業(解体・地盤調査・木工事)を助言・指導・監督した。	工事進捗率36%	工事進捗率53%	継続
			* 国重要無形民俗文化財上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業(東町楼車・鍛冶町楼車)を助言・指導・監督した。	事業進捗率(東町)70%	事業進捗率(東町)100% (福居町)20%	継続
			* 国重要文化財猪田神社本殿の保存修理事業(屋根葺き替え)を助言・指導・監督した。	工事進捗率59%	工事進捗率100%	継続
		文化財施設維持管理経費	* 直営2館(柘植、大山田)、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。	入館者数 12.29人/日	入館者数 13.40人/日	継続
歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	3 2 1 ・文埋郷 保蔵土 存財文 及に化文 活関財化 するの 諸保産 資料と の保護 の活用 の収集・ 保存及 び活用	埋蔵文化財発掘調査経費	* 対象となる民間・公共の開発事業がなかったため、埋蔵文化財の発掘調査を実施しなかった。	試掘調査件数11件 立会調査件数7件	試掘調査件数5件 立会調査件数5件	継続
		上野城高石垣計測事業	* 上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。	測量実施地点数 16点	測量実施地点数 11点	継続
		歴史まちづくり事業(歴史的風致維持向上計画進捗管理事業)	* 伊賀市歴史的風致維持向上計画(上野、島ヶ原、青山)に基づき、2回の法定協議会、1回の庁内会議を開き、計画変更を行った。	計画進捗率10%	計画進捗率15%	継続
		伊賀国庁跡保存整備事業	* 公有地化を実施した用地の除草作業等環境整備を実施した。 * 史跡整備を図るため、基本設計を策定した。	史跡整備 進捗率: 15%	史跡整備 進捗率: 37%	継続

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
1 郷土の文化遺産の保護と活用 2 埋蔵文化財の保護と活用 3 文化財に関する諸資料の収集・保存及び活用	○上野天神祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、市民にとって大きな喜びである。長く保存伝承されるよう取組の継続を行われない。 ○数字的には若干の進展はみられるが、事業の推進による早期完了を図りたい。 ○文化財施設は、伊賀市文化都市協会との連携で、さまざまなイベントにより周知されてきているが、大半が無料、低料金となっている。入館者を増やす目的のイベントもよいが、収益にもつながる工夫、内容を求める。 ○年々整備され努力の跡がうかがえる。今後とも多言語での説明なども合わせ、丁寧な説明書き等の設置を期待したい。 ○市民が国庁の歴史を気軽に学べるような憩いの場の整備を期待する。	

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		方向性			
				2018年度実績値	2019年度目標値				
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援 図書館管理経費 図書室管理運営経費 ・図書館の利用促進	* 市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。 * 図書館未利用者の利用者を促進するため「ナイトライブラリー」や「夜の図書館探検」等を開催し、図書館の仕組みを知ってもらうとともに、若い世代を対象に、自分だけの本の表紙を作成する「ルリユール講座」を開催した。 * 忍者月間には「忍者図書館」として、忍者特集や特別企画展示を行い利用促進に努めた。	貸出利用者数計85,679人	貸出利用者数計86,500人				
				上野:71,082人	上野:72,000人	充実			
				いがまち:3,719人	いがまち:3,200人	継続			
				島ヶ原:368人	島ヶ原:400人	継続			
				阿山:2,646人	阿山:3,000人	継続			
				大山田:3,805人	大山田:3,800人	継続			
				青山:4,059人	青山:4,100人	継続			
	2	利用者サービスの充実 ・図書の貸出	* 「図書室だより」や分館の図書室広報誌等で、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催の情報発信を行った。 * 図書館情報システム連携により、各図書館間や三重県立図書館等との相互貸借貸出等、利便性の向上を図った。 * 地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。 * 校園長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小学校へのセット文庫の定期配送サービスを開始し、学校図書館支援を行った。	貸出冊数計320,659冊(うち児童書130,393冊)	貸出冊数計308,900冊(うち児童書120,300冊)				
				上野:271,593冊(うち児童書104,335冊)	上野:270,000冊(うち児童書100,000冊)	充実			
				いがまち:13,099冊(うち児童書7,921冊)	いがまち:12,000冊(うち児童書4,000冊)	継続			
				島ヶ原:761冊(うち児童書398冊)	島ヶ原:800冊(うち児童書300冊)	継続			
				生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	2	利用者サービスの充実 ・図書の貸出	阿山:10,304冊(うち児童書5,437冊)	阿山:11,000冊(うち児童書3,500冊)	継続
							大山田:12,743冊(うち児童書7,179冊)	大山田:12,500冊(うち児童書7,000冊)	継続
							青山:12,159冊(うち児童書5,123冊)	青山:12,500冊(うち児童書5,500冊)	継続
2	利用者サービスの充実 ・図書配送サービス	* 図書館情報システムの連携及び配送サービスにより、身近な地域で市内各図書館所蔵資料を受け取れる等、利便性の向上を図った。 * 市内小学校へセット文庫を配送し、児童の図書利用促進を図る。	配送書籍数計24,180冊	配送書籍数計25,500冊					
			上野:9,130冊	上野:10,000冊	継続				
			いがまち:4,545冊	いがまち:4,600冊	継続				
			島ヶ原:795冊	島ヶ原:900冊	継続				
			阿山:3,395冊	阿山:3,500冊	継続				
			大山田:3,626冊	大山田:3,700冊	継続				
			青山:2,689冊	青山:2,800冊	継続				
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実 ・読み聞かせ会等の実施	* 市内の各ボランティアグループの協力を得て、子どもが本に親しむ機会づくりのため、各図書館において、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を実施した。 * 学校などへ出向きブックトークや読み聞かせ会を実施するほか、伊賀鉄道と連携し「おはなしでんしゃ」を発車したり、他団体と連携し読み聞かせ事業を行うなど充実を図った。 * 同じ題名の各国の絵本を活用し、多言語での読み聞かせ会を開催した。	開催数計302回	開催数計300回				
				上野:75回	上野:80回	継続			
				いがまち:54回	いがまち:30回	継続			
				島ヶ原:21回	島ヶ原:21回	継続			
				阿山:25回	阿山:24回	継続			
				大山田:67回	大山田:65回	継続			
				青山:60回	青山:80回	継続			
		・特集コーナーの設置	* 「郷土の歴史夜咄会」を開催し、伊賀の歴史を学ぶ機会を充実させるとともに、関連資料の歴史企画展示を行った。 * 市民ニーズや時事情報を参考にテーマを決め、関連資料特集コーナーを設け利用促進に努めた。	特集実施計124回	特集実施計126回				
				上野:42回	上野:40回	充実			
				いがまち:16回	いがまち:20回	継続			

施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指 標		方向性	
				2018年度実績値	2019年度目標値		
生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	・特集コーナーの設置	島ヶ原:2回	島ヶ原:13回	継続	
				阿山:25回	阿山:12回	継続	
				大山田:28回	大山田:20回	継続	
				青山:21回	青山:21回	継続	
			・読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	* 読書感想文コンクールを実施し、全市民の読書推進に努めた。	応募数:339点	応募数:350点	継続
	4	資料の収集と活用の推進	・資料の収集と活用	* 市民からのリクエストや司書が選書した新刊図書などを購入し、資料の充実を図った。 * 古文献整理調査や古文書に関するレファレンス(調べもの相談)に取り組んだ。 * 古文書「山論文書」が市の指定有形文化財に指定されたことを受け、関連講座を開催するとともに関連資料の企画展示を行い、広く市民に周知した。	図書購入冊数 計6,952冊	図書購入冊数 計7,970冊	
					上野:6,000冊	上野:7,000冊	継続
					いがまち:300冊	いがまち:300冊	継続
					島ヶ原:16冊	島ヶ原:20冊	継続
					阿山:190冊	阿山:200冊	継続
大山田:182冊					大山田:250冊	継続	
青山:264冊	青山:200冊	縮小					

努力目標	平成30年度事業に対する評価委員からの評価・意見等	評価委員会の今後の対応
1 市民の学習活動の支援	○時代に合った様々な取り組みを考え実施されていることがよく分かり、今後とも新たな工夫と企画を続けられることを期待したい。 ○活字離れが急速に進む中、改めて本を読むことの素晴らしさや充実感に出会える機会を市民に与える取り組みを投入してほしい。	
2 利用者サービスの充実	○パソコンによる検索機能を充実させ、関連図書が一覧できるなどサービスの向上に努められたい。 ○定時制に通学する高校生への読書活動推進の取り組みを検討されたい。 ○上野図書館の駐車場が満車で止められないことがあるのが残念である。郵便局の裏にもあるが体の不自由な方には少し遠い。 ○身近な地域での配送サービスは、移動が不自由な方や忙しい方にとって有意義な対応である。継続と一層の充実に努められたい。	
3 読書活動の支援と充実	○外国籍の子ども達とその保護者にとって、多言語での読み聞かせとても有意義だと思う。大変だが、機会を増やし、積極的な実施を望む。あわせて、人の友好も図れるようなグローバル化を目指していただきたい。 ○市内各地の読み聞かせサークルが地域や学校で活発に活動されているが、更に活動の充実を図るため学校との連携を図られたい。 ○郷土の歴史を知る、学ぶことへの関心も高いと思われる。上野図書館だけでなく各地域での開催を望む。 ○限られたスペースであるが更に工夫した取り組みを望む。	
3 読書活動の支援と充実	○活字に慣れ親しむという観点からも更なる取り組みの工夫に努められたい。	
4 資料の収集と活用の推進	○生涯学習としての教材利用や学習会を企画し、古文書の存在の周知とそれに親しむ機会の提供を推進されたい。 ○山論文書の有形文化財指定は伊賀の歴史に一つの光が当てられたということであり、今後の古文書発掘にはずみがつくものと期待する。	